

今日は、ご来場いただき、誠にありがとうございます。
恐れ入りますが、中絶よりご退場ください。
お配りした楽譜は、後で回収しますので、
最後までご参加いただければ幸いです。
みなさんで、一緒に学び、楽しみたい。



秋は文化・芸術が面白い!!

今、注目の活動と魅力ある人々

秋の訪れとともに、美術や音楽、舞踊などさまざまな文化・芸術の季節がやって来ました。
そこで今回の特集は、秋にちなみ「文化・芸術」にスポットをあて、
演劇や音楽活動に取り組む方々をご紹介します。



ニコちゃんの会 すっごい演劇アートプロジェクト





「社会福祉法人明日へ向かって」のガムランチーム“Go On”。現在、障がいのある30名がメンバーとして活動しています。チーム名である「ゴーオン」は「go on(進む、継続する)」「五音(音階の数)」「轟音」「御恩」「ゴーン(音)」の五つの言葉が重なり合わせたものです。



●あまり聞き慣れない珍しい楽器ですが、ガムランとはどのような音楽ですか？

インドネシアの伝統楽器で金属打楽器群と合奏を総称して「ガムラン」と呼ばれています。大小様々な形をもったガムランの楽器は鍵盤型のものや壺型のもの、弦を張ったもの、笛などがありますが、私たちが使用している楽器はジャワ島の高原地帯であるスンダ地方の様式で、「ガムラン・ドゥグン」と呼ばれています。平成26年5月にインドネシアより輸入したガムランセットが当法人に導入されましたが、福祉施設におけるガムランの常設は他に例を見ない試みであり、利用者にとって、楽器を身近に触れることができる機会を提供することができています。

●ガムランの特徴や魅力はどんなところにありますか？

ガムラン一つ一つが手作りで、音色が多様で、音階も五音と限られています。ガムランは繰り返しリズムが奏でられるため、演奏中は自由に演奏しても途中からリズムに乗ることもできます。また、楽器を叩く強弱で音が変化し、音階が五音でも様々なアレンジやメロディーを奏でることができるのも魅力のひとつです。

●普段の練習でメンバーの皆さんが工夫していることなどありますか？

ガムランをはじめた当初は手探り



社会福祉法人 明日へ向かって
音楽活動ディレクター 渡辺 融(わたなべ とおる)さん(左)
主任(地域連携・文化事業部) 財津 靖子(さいつ せいこ)さん(右)

の状態でした。練習では、メンバーが色分けされた数字による譜面をもとに音を奏でます。実は私たちの演奏するほとんどの曲をメンバーが作曲し、そこに詩を乗せひとつの曲を完成させています。そのため、メンバーにとって演奏しやすく個々が集中して練習に取り組んでいます。

●様々なイベントに出演されていますが、これからの目標を教えてください。

以前、近隣の施設で精神に障がいのある方とのワークショップを開催しました。ガムランを通して、地域で障がいがある人もない人も老若男女と一緒に楽しめるワークショップを開催していきたいと考えています。将来的には県外や海外からのオフファィーがくるようなチームを目指して、日々メンバーとともに演奏を楽しんでいきたいと思っています。



メイク中の小寺さん(奥)



走れメロス!に出演した俳優陣



「ガラスの動物園」公演開催のお知らせ

◎福岡公演／日程：2020年1月23日・24日・25日 場所：福岡市アジア美術館
◎東京公演／日程：2020年2月1日・2日 (あじびホール)

●演劇に出会ったきっかけを教えてください。

最初は小学校4年生の時、劇団四季ミュージカル「ライオンキング」を観たのがきっかけでした。そして、今から4年前*ニコちゃんの会主催の演劇「BUNNAブナ」を鑑賞しました。障がいのある役者さん達の迫力やエネルギーに圧倒されたことを今でも鮮明に覚えています。その2年後、俳優体験ワークショップに参加させていただき、本格的に役者としての活動を始めました。

●昨年12月に開催された、身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇「走れ！メロス。」に出演されましたが、セリフや動きを覚えるため自分なりの工夫などありましたか？

「走れ！メロス。」では創作演劇のため、稽古中に何度もセリフの差し替えや動きの変更などがあるため、台本をいただいてから最初の稽古が始まる約2ヶ月間、台本を何度も読み込み、自分のセリフを声に出して母に聞いてもらい確認しました。また、動きに関しては電動車いすで舞台上を移動するため、演劇中の動線と立ち位置を覚えるため、舞台上から見た景色をスマホで撮影し確認していました。

●演劇活動とお仕事の両立は大変かと思いますが、どのような生活をされていますか？

昨年、勤務していた会社を辞めて、演劇を本格的に集中できるように在宅ワークへ変更し、パソコンで事務の仕事をしていきます。休みの日は親しい友人や家族とカラオケやショッピングなどを楽しんで過ごしています。

●小寺さんにとって演劇の魅力とは？ 私にとって演劇を一言で表現すると「エネルギー」です。数年前の私は、自分を表現することが苦手でした。演劇の稽古をするなかで、自分の意見を主張できるようになり、メンタル面でも自信がもてるようになりました。

●今後の目標を教えてください。 まだ出演回数も少ないため、今後は多くの作品に関わり、他の役者さんやスタッフの方々、お客さんから求められるような役者になりたいですね。そのためにも、自分の表現力をより一層高めて劇団を代表する役者になれるよう、これからも日々稽古に励んでいきたいと思っています。

※認定NPO法人ニコちゃんの会
〒814-0153福岡市城南区樋井川6-37-18
TEL092-1863-5903
メール info@nicochan.jp



小寺 美咲(こでら みさき)さん